

■イタリアの財団が知事表敬

西都市出身の天正遣欧使節、伊東マンショを描いた肖像画を所有する、トリブルツィオ財団（イタリア・ミラノ）のジャン・ジャコ



モ・アットリコ・トリブルツィオ会長(65)らは20日、県庁で河野知事を表敬した—写真。

トリブルツィオ会長は今年が、日本とイタリアの国交樹立150周年に当たることを紹介。「マンショをきっかけに宮崎、そして西都市と結ばれたことをうれしく思う」などとあいさつ。知事は「記念の年に宮崎出身の人物が日本とイタリアの交流に貢献できて誇らしい」と応じた。

肖像画は今秋、宮崎市の県立美術館で県内初公開される。これを記念し、西都市民会館で21日午後2時からトリブルツィオ会長の講演会（同市、同市教委主催）などが開かれる。

(草野航)